

議題1 地域公共交通計画の見直しについて

1. 地域公共交通計画とは

地域の主体的な取組等によって地域旅客運送サービスの持続可能な確保に資する地域公共交通の活性化及び再生を推進するため、地域公共交通計画の作成やこれに基づき実施する事業等について定めた「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」が平成19年に制定された。

地域公共交通計画は、「地域にとって望ましい地域旅客運送サービスの姿」を明らかにする「マスタープラン」としての役割を果たすものであり、地域公共団体が地域の移動に関する団体を集めて「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に定める協議会を開催し、交通事業者や地域の関係者等との協議を重ねることで作成するものとされている。

2. 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の主な改正

○令和2年改正

「地域公共交通網形成計画」を「地域公共交通計画」と改め、地方公共団体の作成を努力義務として規定。

○令和5年改正

目的規定に、自治体・公共交通事業者・地域の多様な主体等の「地域の関係者」の「連携と協働」を追加し、国の努力義務として、関係者相互間の連携と協働の促進を追加。

3. 計画策定のこれまでの取組み

○地域公共交通活性化協議会の設置

計画の策定には、地域公共交通活性化協議会の役割が非常に重要であり、利用者や交通事業者等が現状・問題点を共有し、今後の公共交通の再編を推進していく上での「推進本部」となるため、従前からある循環バス等の運賃やルートの合意形成を図るための地域公共交通会議の役割を拡充し学識経験者など必要な構成員を加えて、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づく協議会へと平成28年に移行となった。

○平成30年3月地域公共交通網形成計画の策定

【役割】

計画は地域にとって望ましい公共交通網のすがたを明らかにするマスタープランとしての役割を果たす。

【位置づけ】

市の総合計画及び都市・交通分野の基幹計画であり、市都市マスタープランに基づくものとして位置づけている。

【計画期間】

5 年間（平成 30 年度から平成 34 年度まで）

【基本的な方針】

持続可能で利便性の高い公共交通体系の確立

○白井市地域公共交通網形成計画の改定（令和 5 年 3 月）

計画期間を令和 4 年度までとする計画を策定したが、平成 31 年度からの新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で公共交通の利用者が減少しており、交通需要の分析や予測を行うことが厳しい状況にあることから、計画期間を市総合計画後期基本計画期間の終期と合わせて令和 7 年度まで延長し、新たな課題を踏まえて計画期間内に優先して取り組む事業等を位置付けた。

4. 計画策定の必要性について

地域公共交通網形成計画を策定し、地域公共交通の活性化に関する様々な施策、取り組みを行ってきた。

この間、コロナ禍をはじめ、運転手不足など地域公共交通を取り巻く環境は大きく変わってきており、持続可能な地域公共交通ネットワーク形成に向け、多様な交通手段を横断的に再構築し、地域の実情に応じたネットワーク及びサービスのあり方を示していくことが求められている。

これらの課題に対応するため、「白井市地域公共交通網形成計画」を見直し、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に規定する「白井市地域公共交通計画」を策定する。

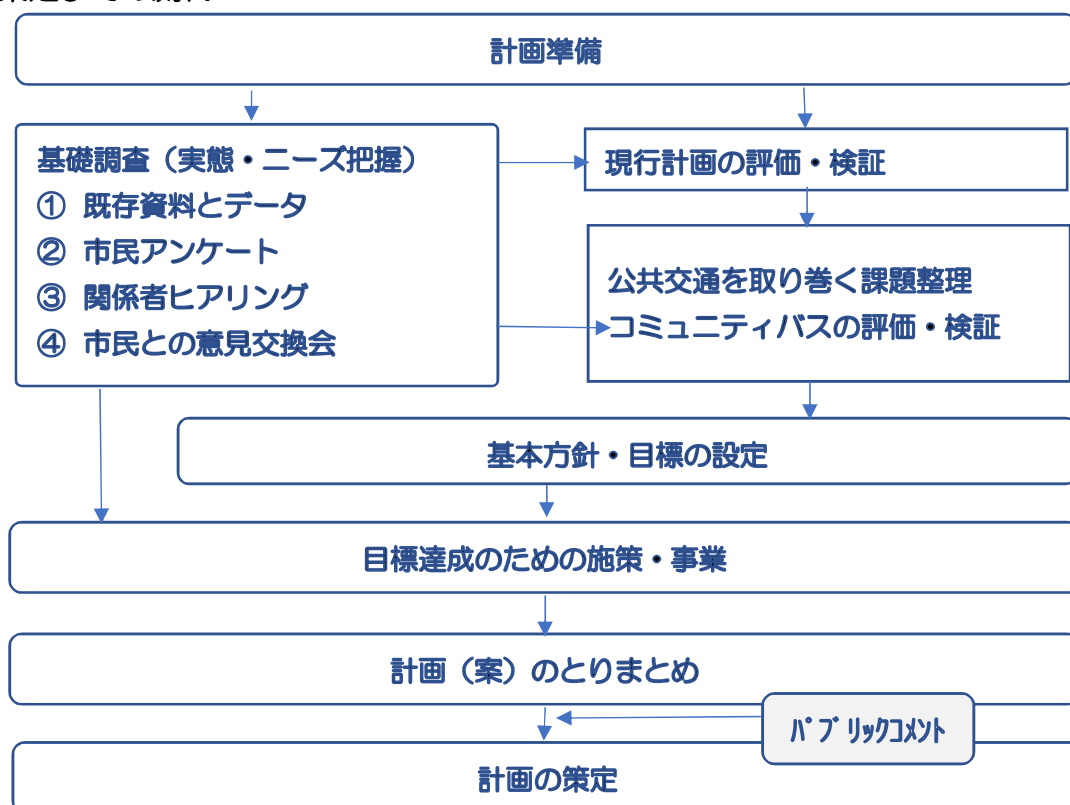
5. 計画に記載する事項（地域公共交通活性化及び再生に関する法律 第 5 条第 2 項）

- ①地域旅客運送サービスの持続可能な提供の確保に資する地域公共交通の活性化及び再生の推進に関する基本的な方針
- ②計画の区域
- ③計画の目標
- ④目標を達成するために行う事業・実施主体
- ⑤計画の達成状況の評価に関する事項
- ⑥計画期間
- ⑦その他計画の実施に関し地方公共団体が必要と認める事項

6. 計画期間

5 年間（令和 8 年度：2026 年から令和 12 年度：2030 年）

7. 策定までの流れ



○策定等の視点

- ① 現計画（地域公共交通網形成計画）の検証と新計画（地域公共交通計画）への反映
- ② 持続可能な交通ネットワークの維持と取り巻く環境整備
- ③ コミュニティバス「ナッシー号」の検証と改善及び多様な移動手段との相互関係や施策の検討
- ④ 施策を実施するための体制や仕組（地域住民を含む関係者との連携・協働等）の検討

○基礎調査（実態・ニーズ把握）

① 既存資料とデータ

- ・上位計画、関連計画の整理→まちづくり等の方向性を確認
- ・市の現状分析→地域の実態・特性の現状把握
- ・市の公共交通及び利用者の現状把握

② 関係者ヒアリング調査

調査目的	調査概要	
	交通事業者等が抱える問題点や課題、本市の地域公共交通に求められる役割、他分野との連携施策等を把握することを目的とする。	
対 象	名 称	把握したい内容
[交通事業者] ① 鉄道事業者	・ 北総鉄道	・ 鉄道の利用の傾向、課題 ・ 市内全体の公共交通の課題 ・ 事業（サービス）の見直し予定 ・ 今後の改善すべき取り組みへの意向 等
② バス事業者	・ ちばレインボーバス ・ 船橋新京成バス	・ 人員や車両台数 ・ 路線別の利用の傾向、課題 ・ 市内全体の公共交通の課題 ・ 事業（サービス）の見直し予定 ・ 今後の改善すべき取り組みへの意向 等
③ タクシー事業者	・ エミタスタクシー白井(株) ・ (有)白井タクシー	・ 人員や車両台数 ・ タクシー利用の傾向、課題 ・ 市内全体の公共交通の課題 ・ 事業（サービス）の見直し予定 ・ 今後の改善すべき取り組みへの意向 等
[関係団体等] ① 工業団地	・ 白井市工業団地協議会	・ 通勤に係る移動手段 ・ 送迎バスの運行及び利用実態 ・ 市内全体の公共交通の課題 ・ 今後の改善すべき取り組みへの意向 等
② 商工会議所	・ 白井市商工会	・ 商工活性化の視点における公共交通の今後のあり方 等

対 象	名 称	把握したい内容
③ 社 会 福 祉 協 議 会	・ 白井市社会福祉協議会	・ 交通弱者の移動実態と課題 ・ 市内全体の公共交通の課題 ・ 今後の公共交通の対応やあり方 等
④庁内関係課	・ 高齢者福祉課 ・ 障害福祉課 ・ 子育て支援課 ・ 市民活動支援課 ・ 未来創造戦略室 等	・ 交通弱者の移動実態と課題 ・ 福祉関係運送と公共交通の役割分担 ・ 各関係課から公共交通に求めること ・ 各分野と連携した取り組みの可能性 等
[関係施設] ① 病院	・ 千葉白井病院 ・ 北総白井病院 ・ 白井聖仁会病院	・ 通院実態、通院時の交通手段の課題 ・ 送迎バスの運行及び利用実態 ・ 市内全体の公共交通の課題 ・ 今後の公共交通の対応やあり方 等
② 市の 出先機関等	・ 文化会館 ・ 福祉センター ・ 公民センター ・ 白井駅前センター ・ 西白井複合センター ・ 桜台センター ・ 富士センター ・ 白井コミュニティセンター ・ 西白井コミュニティセンター	・ 出先機関利用者の移動実態、課題 ・ 市内全体の公共交通の課題 ・ 今後の公共交通の対応やあり方 等

③ 市民との意見交換会

実施目的	実施概要	
	各地区の実態を市民アンケートの結果やデータをもとに整理し、自身の居住する地区の公共交通の現状と課題に対する改善策や新たな交通サービス等に対する意見等を確認し、計画策定の参考とする。	
対 象	実施場所	実施方法
各小学校区の 市民	・ 白井駅前センター ・ 西白井複合センター ・ 桜台センター ・ 富士センター ・ 公民センター ・ 白井コミュニティセンター ・ 西白井コミュニティセンター	・ 公共交通に関する現状と課題説明 ・ ワークショップ

白井市地域公共交通計画 全体スケジュール（案）

議題1

R7.3.14時点

	令和7年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1. 基礎調査												
① 上位計画・関連計画の整理												
① 市の現況（地域特性）分析												
② 市の公共交通及び交通利用の現状把握												
2. 基礎調査（ニーズ把握）												
① 市民アンケート調査												
② 関係者ヒアリング調査												
※ 施策事業の検討と併せて適宜実施												
3. 計画（案）の作成												
(1) 地域公共交通の問題点・課題の整理												
(2) 望ましい公共交通ネットワークの方向性の整理												
(3) 公共交通の将来需要の予測												
(4) 公共交通の運行形態の検討												
(5) 目標値・評価方法・方針展開の検討												
(6) 市民意見交換等												
(7) 計画素案の作成												
(8) パブリックコメントの実施												
(9) 計画書の編集・印刷												
4. 会議												
(1) 地域公共交通活性化協議会												
(2) 行政経営戦略会議												

8.【路線バスの減便廃止・計画策定に係る検討事項】

課題：

コミュニティバス「ナッシー号」の検証と改善及び多様な移動手段との相互関係や施策の検討について

○【市としての考え方】令和6年度第1回地域公共交通協議会では

◆各公共交通機関の役割と今後の方向性

- ・運転手不足など、各交通事業者を取り巻く環境は大変厳しい状況がありますが、現状においても各公共交通機関の役割が大きく変わるものではない。
- ・今後は地域住民、企業など多様な関係者が連携、協働して地域の移動手段について検討、取り組むことが必要。

◆連携・協働に係わる今後の検討について

- ・次期公共交通計画において、連携・協働の取り組みを明確に位置付けたうえで、計画的に実施していくことが必要

◆減便、廃止に係わる今後の方向性

- ・コミュニティバスの運行見直しの検討

○検討課題におけるポイント

◆現状で提供されている公共交通サービスの活用

◆地域の実情に合わせた交通手段の見直し

- ・民間事業者による乗合バスで運行していたサービスをコミュニティバスやデマンド型などに変える。

- ・地域が有する公共交通以外の移動手段（スクールバス、福祉郵送運送、病院、企業などの既存民間事業者による送迎サービス等）の有効活用。

※ 既存の公共交通と路線やダイヤ等が競合しないよう調整が必要

◆地域に適した新しいサービスを考える

- ・既存の公共交通サービスに加えて新たなサービスの導入

※ 既存タクシーの活用など、いくつかの代替案を列挙し、メリット・デメリットを考察し、地域にとって最も効率的・効果的な手段の選定が必要

9. 公共交通に関する市民アンケート調査の中間報告

①アンケート実施目的

市民の日常の移動実態や公共交通の利用状況、公共交通に対する意見・要望等を調査

②調査対象

白井市に住民票を有する 15 歳以上を対象とし、都市マスタープランの地区区分(6 地区)を基本とし、各エリアの対象人口から、特定の地区の意見に偏りがないよう、各地区の配布数に基づき無作為抽出により対象者を選定した。

また、調査票は世帯ごとに送付し、1 つの調査票に 4 人まで回答可能とした。

③調査期間

令和 6 年 12 月 20 日(金)から令和 7 年 1 月 24 日(金)

④回答方法

紙面(郵送等)及び WEB(QR コードの活用)による。



項目	世帯			個票			
	配布数	回収数	回収率	回答 可能数	回答数	クwestant 回答数	回答率
1地区（第一小学校区）	290	69	23.8%	1,160	115	17	9.8%
2地区（第二小学校区）	290	78	26.9%	1,160	123	15	10.5%
3地区（第三小学校区）	380	71	18.7%	1,520	106	24	6.9%
4地区（大山口、清水口、七次台小学校区）	680	208	30.6%	2,720	322	88	11.5%
5地区（南山、池の上小学校区）	410	122	29.8%	1,640	200	51	11.8%
6地区（桜台小学校区）	300	95	31.7%	1,200	152	41	12.2%
小学校区不明		8			12		
ナッシー号利用者	30						
合 計	2,380	651	27.4%	9,400	1,030	236	10.7%

※ナッシー号利用者については、令和7年1月10日（金）に白井市役所を発着する各ルートナッシー号利用者に配布したもの。

問 2 回答者ご自身のことについて

回答者の属性について、性別は男性が半分以上となっている。

年齢層で見ると、「75 歳以上」が 28.0%と最も多く、次いで「50 歳以上」が 17.3%を占めている。
また、65 歳以上の年齢で見ると概ね半数を占めている。

職業を見ると、回答者の年齢が高いことから「無職(年金生活含む)」が 34.2%と最も多く、次いであまり差がなく「会社員・公務員」が 32.3%となっている。

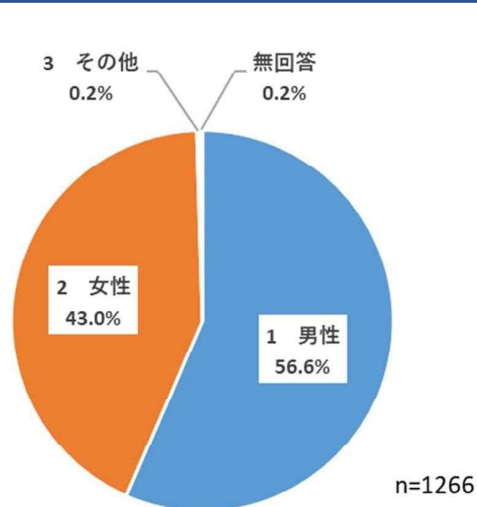


図 1 性別

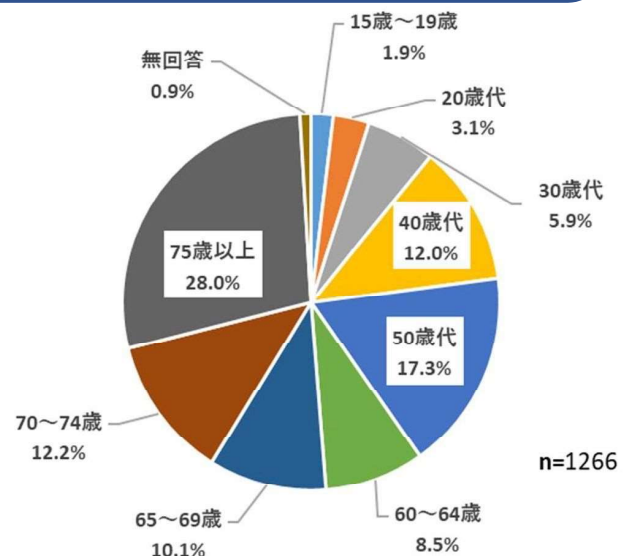


図 2 年齢

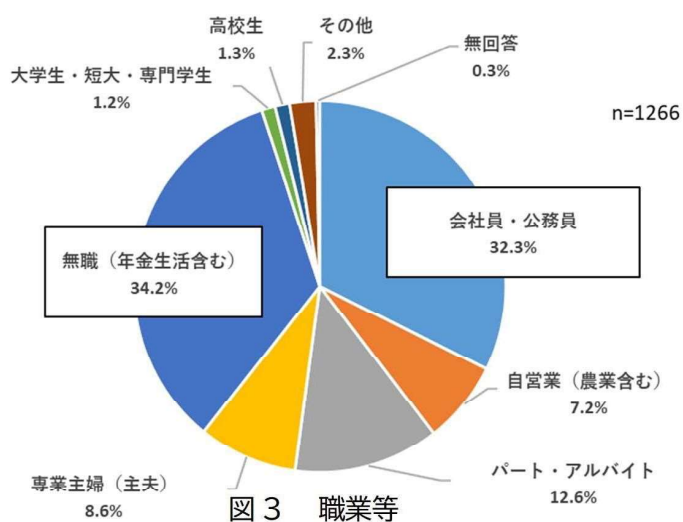


図 3 職業等

運転免許証の保有について、「持っている」と回答する方が最も多く、77,9%と半分以上を占めている。
 運転免許証の返納について、「考えていない」と回答する方が 76.2%を占めている。
 運転免許証の返納予定時期について、「80 歳頃」と回答する方が 35.2%と最も多く、次いで「85 歳頃」が 25.4%を占めている。
 自動車の保有及び使用状況については、「ご自身の自動車がある」と回答する方が 59.6%と半分以上を占めている。

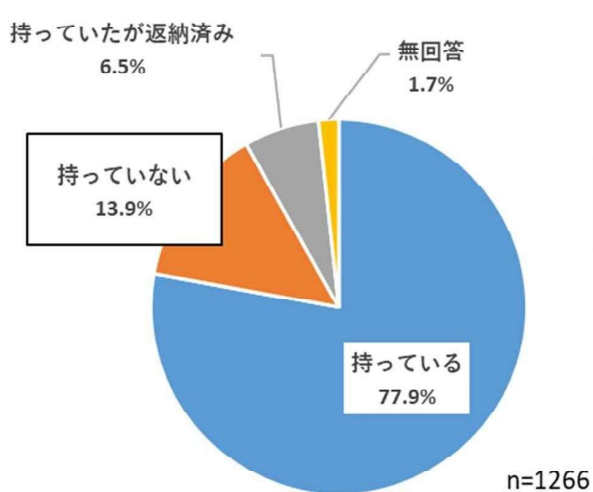


図 4 運転免許証の保有について

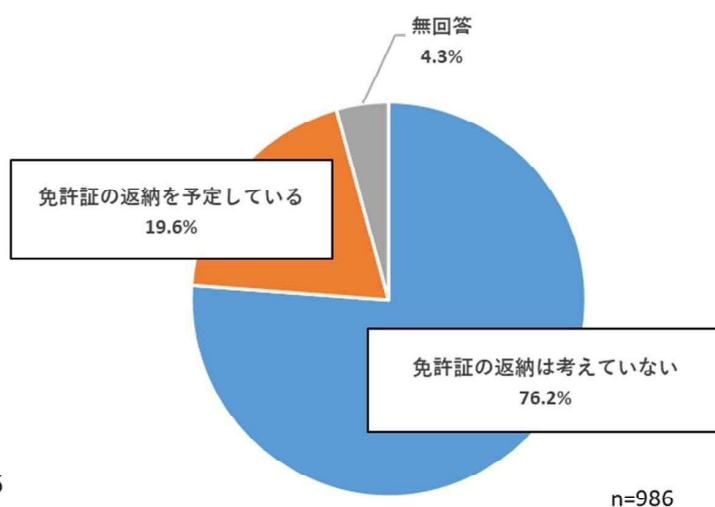


図 5 運転免許証の返納について

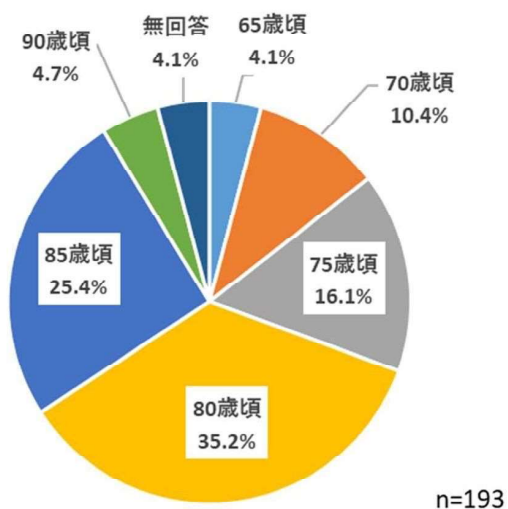


図 6 「図 5 で予定している」と回答した方の返納予定時期

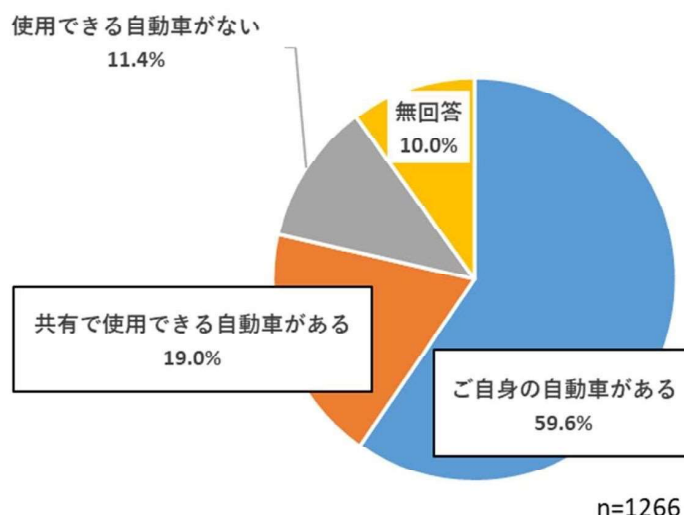


図 7 自動車の保有及び使用状況

令和6年度ふるさとまつり 公共交通に関するアンケート結果について



令和6年10月
白井市 都市計画課 交通政策班

調査実施内容

【目的】

移動環境の実態や白井市コミュニティバスナッシー号の利用状況を把握し、今後、公共交通に係る事業の参考とするため実施するもの。

【調査項目】

- ・ 普段の生活における移動環境の満足度について
- ・ 白井市コミュニティバスナッシー号利用有無について

【調査対象と回答者数】

- ・ 調査対象 ふるさとまつり来場者
- ・ 回答者数 65名

【調査方法】

- ・ 職員によるふるさとまつり来場者への声掛け

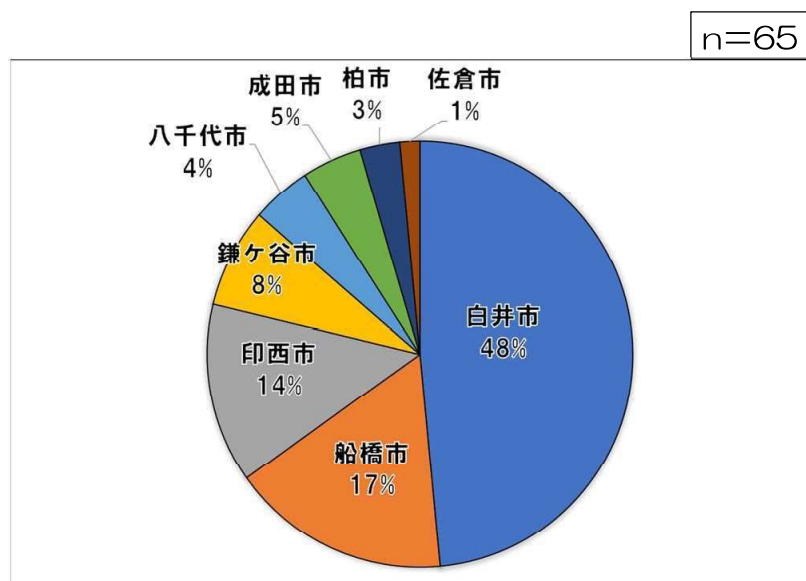
【調査期間】

- ・ 令和6年10月19日（土） ※ふるさとまつり開催1日目

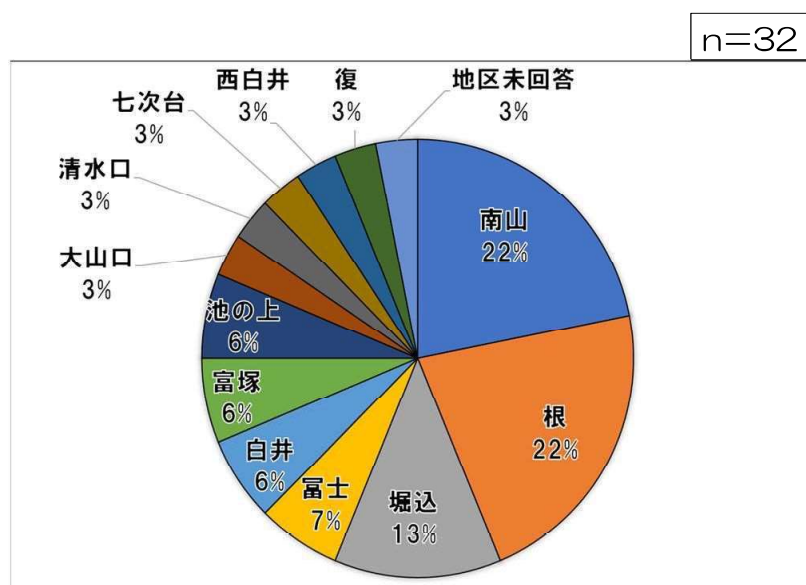
アンケート結果

問1 お住まいの地域について

居住地について、アンケート回答者の約半数である48%が「白井市内に住んでいる」と回答しており、次いで「船橋市に住んでいる」と回答する人が17%であった。



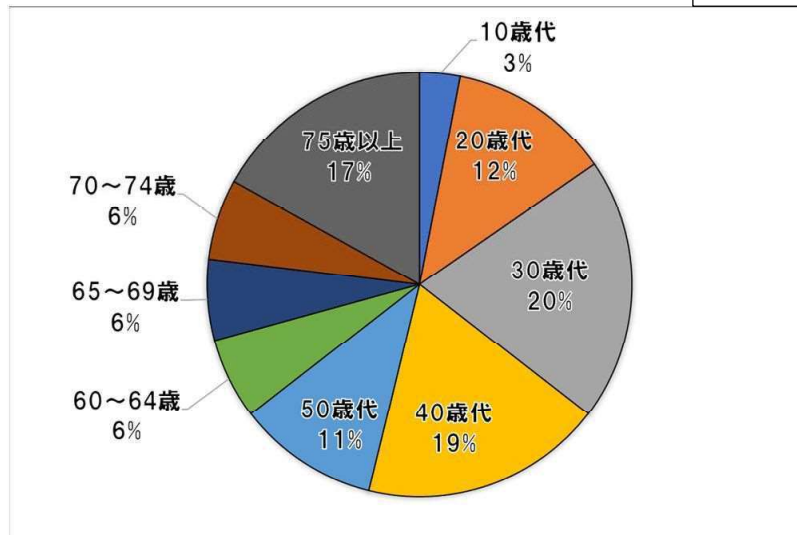
【市内回答者の地区別内訳】



問2 年齢について

年齢について、「30歳代」からの回答が20%と一番多く、次いで「40歳代」と回答する人が19%となっている。

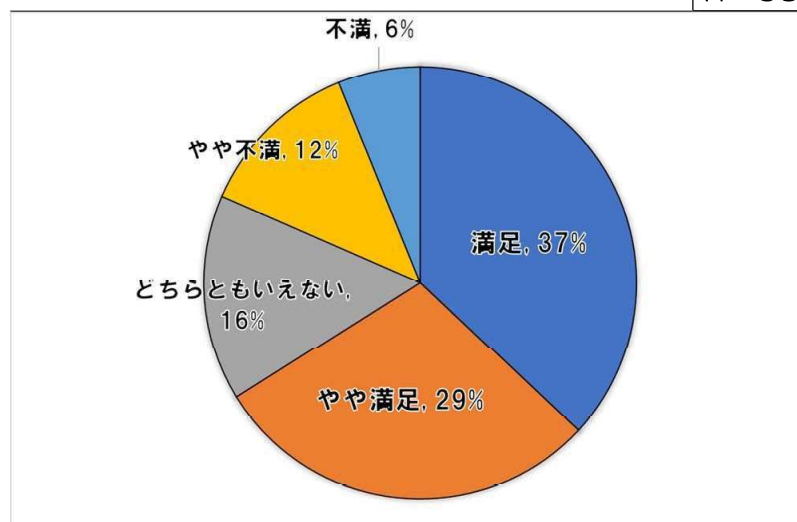
n=65



問3 あなたは普段の生活における移動環境(マイカーや公共交通の利用しやすさ)に満足していますか？

移動環境の満足度について、「満足」と回答する人が37%と一番多く、次いで「やや満足」と回答する人が29%であり、半数以上が移動環境に「満足」、「やや満足」している結果となっている。

n=65

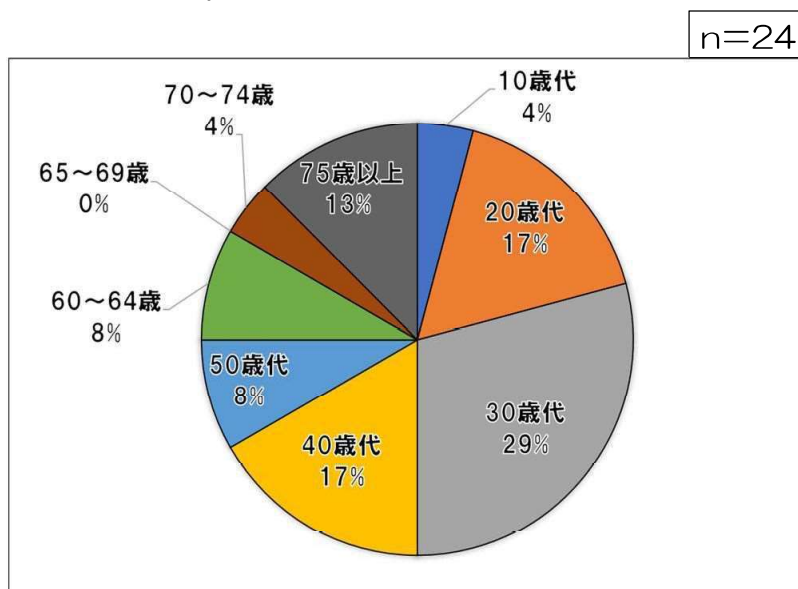


【やや不満、不満な理由】

- ・料金がいため
- ・駅まで歩くのが大変
- ・本数が少ない(土、日)
- ・廃止のため
- ・バス無い
- ・移動したい時間帯にバスが来ない！
- ・北総の各駅(通過)を多くしてほしい
- ・運転免許なし、公共交通利用のため高い
- ・北総、東葉高速高い！

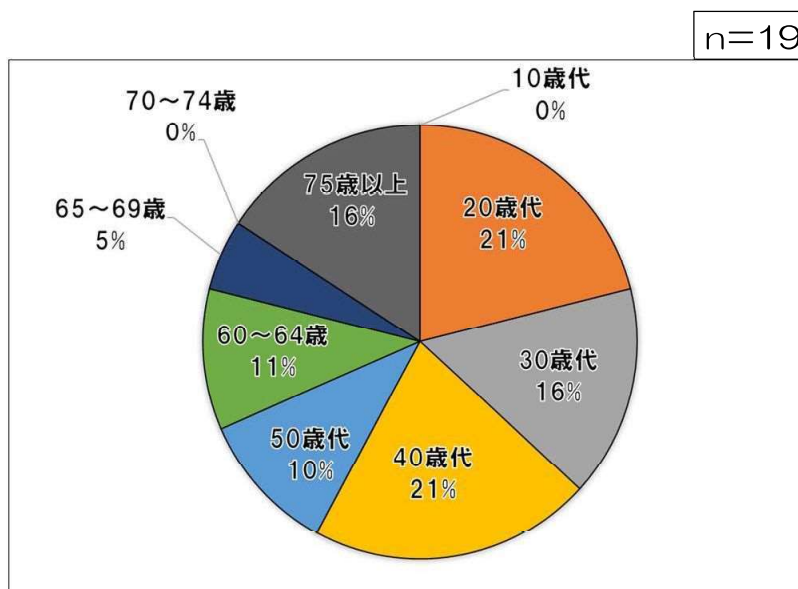
問3－A（移動環境について）で「満足」と回答した人の年齢内訳

自身の移動環境に「満足」と回答した人の年齢割合について、「30歳代」からの回答が29%と一番多く、次いで「40歳代」と「20歳代」からの回答が17%となっている。



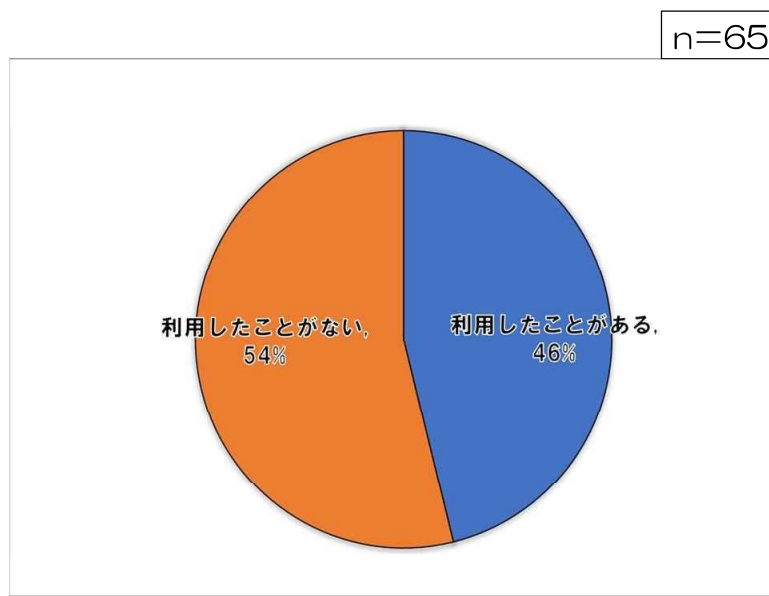
問3－B（移動環境について）で「やや満足」と回答した人の年齢内訳

自身の移動環境に「満足」と回答した人の年齢割合について、「20歳代」と「40歳代」からの回答が21%と一番多く、次いで「30歳代」からの回答が16%となっている。



問4 白井市コミュニティバス「ナッシー号」を利用したことがありますか？

ナッシー号利用について、利用したことがある人は46%、利用したことがない人は54%となっている。



【利用したことがある人のナッシー号に対する要望意見】

- 新鎌ヶ谷が通るルートを再度運行してほしい、小室の方もちょっと通してほしい。
- このまま継続してほしい。
- 運行本数。
- もう少し本数が多いと嬉しい。
- 運転を安全にしてほしい、時間を増やしてほしい。
- 日曜日も動いてほしい。
- 経路について。
- 時間が足りない、1hに1本あるといい。
- 白井市役所から千葉ニュータウンまで時間がかかる。
- 移動したい時間帯にバスが来ない！
- もう少し停留所の回る数をへらしてほしい。目的地まで時間がかかる。
- 日曜日をお願いします。
- 本数を増やしてほしい。（同意見 計3件）

アンケート考察等

① 移動環境の満足度について、半数以上が移動環境に「満足」・「やや満足」となっており、年齢別に見ると、20歳代～40歳代の比較的若い世代で半分以上を占めている状況である。

② 移動環境に「やや不満」、「不満」と回答する人の意見の中で、バスが廃止となった等の理由のため、移動が困難となったため不満である旨の意見を記載している船橋市の回答者が数名いる。（アンケート実施時には生活バスちばにうがなくなってしまう不便であるとの話も数件あった。）

また、上記意見と併せて、ナッシー号の運行について小室を経由してほしいという意見の記載もあった。

生活バスちばにうの廃止によって移動の選択肢が少なくなったことに伴い、小室駅周辺の移動環境に関する満足度が低くなっていると考えられる。

※上記意見があったことから、千葉県バス協会が作成する「千葉県内乗合バス・ルートあんない」を確認したところ、生活バスちばにうを除いた小室駅を通るバスは、白井市・印西市を経由しない3路線（それぞれ、三咲駅・船橋駅・北習志野駅行先）のみであり、白井駅方面や千葉NT中央駅方面に出るバスがなくなってしまった状況であった。

③ 白井市コミュニティバス「ナッシー号」を利用したことのある人からの意見は計15件となっており、その中でも運行本数を増加してほしいと要望する意見が一番多く、15件中8件が同意見となっている。

また、具体的な意見では「1hに1本あるといい。」といった意見があった。